

はじめに

平素より地域の感染症対策にご協力いただきありがとうございます。
医療機関向け情報には (医) を、一般施設向け情報には (一) をつけています。
ご覧いただく際に参考にしていただければ幸いです。

原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。

全数報告：第15週～第16週（4月8日～4月21日） 定点報告：第12週～第16週（3月18日～4月21日）

全数報告疾患情報

(医)

—— 市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

二類感染症	15~16週	累計（年）
結核	4	31

五類感染症	15~16週	累計（年）
梅毒	1	13
侵襲性肺炎球菌感染症	2	5
ウイルス性肝炎	1	1

※定点報告疾患については、
第12週～第16週のグラフを別添しております

発生動向トピックス

(医)

Topics 1

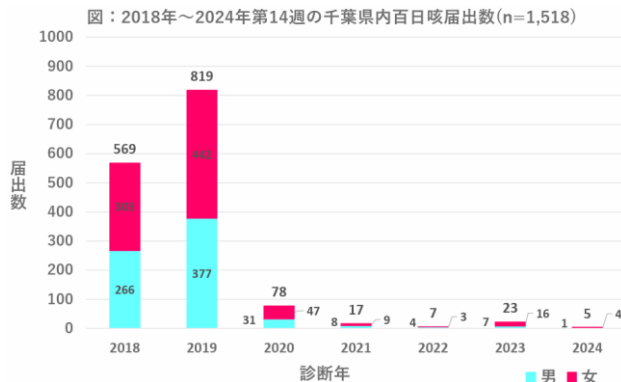
百日咳の届出がありました。長引く咳に注意！



2024年第14週に千葉県内の医療機関から百日咳の届出が2例あり、2024年の累計届出数は5例となりました。また、宮崎市では百日咳の患者が急増しているとして、4月5日に報道発表がありました。百日咳は、2018年から5類感染症の全数把握疾患として届出をすることとなっておりますが、2020年以降は著しく減少しています（図）。

百日咳は、けいれん性の咳発作を特徴とする急性気道感染症です。風邪症状を呈した後、約2～3週間後まで咳が長引く場合があります。特に、乳幼児を中心に感染し、生後6か月未満の乳児は重症化しやすいと言われています。成人の場合、比較的軽い症状で経過することが多いため、受診・診断が遅れることがあり、注意が必要です。

百日咳の有効な予防法は、**予防接種**です。定期予防接種の5種混合ワクチン（ジブテリア、百日咳、破傷風、ポリオ、ヒブ感染症）を接種することで予防が可能です。5種混合ワクチンは、生後2か月から接種することが可能です。



百日咳

症状	7~10日 潜伏期間	約2週間 風邪症状 徐々に咳強まる	約2~3週間 短い連続した咳 息を吸う際に、 ヒューという音 が出る	約2~3週間 咳徐々に治まる 時折発作性の咳
感染経路	鼻や口からの分泌物による飛沫感染や接触感染			
感染対策	①予防接種 ②手洗い・手指衛生			
その他	「特有の咳が消失するまで」又は「5日間の適正な抗菌薬治療が終了するまで」は出席停止			

学校保健安全法

【参考】国立感染症研究所：百日咳とは
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/477-pertussis.html>
 【参考】宮崎市：百日咳に注意しましょう！
<https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/health/health/infection/374956.html>
 【参考】千葉県感染症情報センター：2024年第14週千葉県結核・感染症週報【今週の注目疾患】
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2414.pdf>
 【参考】東京都：百日咳 pertussis(whooping cough)
<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/pertussis/>
 【参考】厚生省通知：令和6年3月29日感発0329第1号「予防接種法施行令の一部を改正する政令等の施行について（施行通知）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/001238400.pdf>
 【参考】日本小児科学会：～日本小児科学会の「知っておきたいわくちん情報」～五種混合ワクチン
https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/VIS_14kaitei20240405.pdf

Topics 2 腸管出血性大腸菌感染症の報道発表がありました



令和6年4月17日に野田保健所に届出された腸管出血性大腸菌感染症患者について報道発表がありました。詳細はメールに添付している別添報道発表資料をご覧ください。気温が高い初夏～初秋は、腸管出血性大腸菌感染症が流行しやすい季節です。重篤になる場合もあるため、感染対策を徹底しましょう。

腸管出血性大腸菌感染症

症状	無症状／下痢／腹痛／血便 など 溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症することも	3 主 徴 溶血性貧血 血小板減少 急性腎障害 子どもと高齢者に 起こりやすい 合併症
感染経路	経口感染：①食べ物から人への感染 ②人から人への感染	
感染対策	菌は加熱や消毒薬によって死滅する ①肉類は火が通るまで加熱する（目安：75℃以上1分間以上加熱） ②箸やトングを使い分ける ③野菜や果物は十分洗浄する ④排便後・食事前・排泄物の処理後等は石けんと流水で手を洗う	

【参考】千葉県感染症情報センター：千葉県結核・感染症週報2024年第15週
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/wr2415.pdf>
 【参考】厚生省：腸管出血性大腸菌Q&A
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

エムポックス

症状	5~21日 潜伏期間	約0~5日 発熱、頭痛、リンパ節の腫れなどの症状が出現 発熱1~3日後に発疹が出現	約2~4週間 症状が持続した後、自然軽快する カサブタが剥がれ落ちる
感染経路	接触感染：感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液との接触（性的接触含む）が中心、感染者が使用したリネン類や食器・歯ブラシの共用等により感染する可能性もある 飛沫感染：咳やくしゃみ等しぶきを浴びることにより感染する		
感染対策	①手洗い・手指衛生 ②性行為時にコンドームを使用する ③エムポックスの流行国ではげっ歯類との接触を避ける		

- 【参考】厚労省：エムポックスについて
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html
- 【参考】国立感染症研究所：エムポックス患者とエムポックス疑い例への感染予防策
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/monkeypox-m/2595-cfeir/11196-monkeypox-01.html>
- 【参考】厚労省事務連絡：エムポックスに関する情報提供及び協力依頼について（令和5年12月26日最終改正）
<https://www.mhlw.go.jp/content/001184502.pdf>
- 【参考】ふれいす東京：MPOX GUIDE BOOK
https://ptokyo.org/eBook/mpox_guide_book/
- 【参考】感染症サーベイランスシステム

インフルエンザ感染症 医

—— 定点医療機関における感染者数の報告は減少傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	35	42	0	0	1

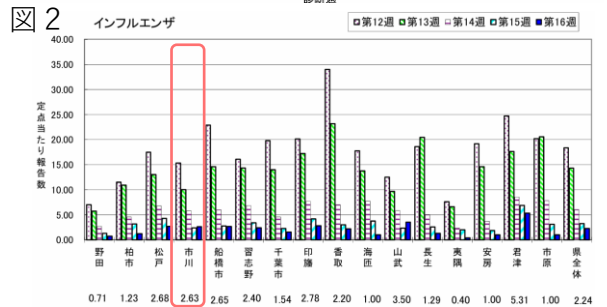
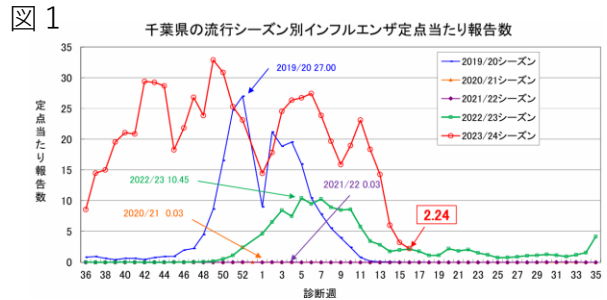
※型非鑑別キット

（医療機関からの型報告なく不明な17例を除く）

2024年第15週～第16週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた表です

第16週の県全体の定点当たり報告数は、2.24（人）と減少しました（図1）。報告数が多かった地域は、君津5.31(人)、山武3.50(人)、印旛2.78(人)でした。市川管内の報告数は、2.63(人)でした（図2）。

2024年第16週に県内で報告のあった例のうち、A型118例（28.4%）、B型284例（68.3%）となっており、2024年第5週以降B型が多くなっています。



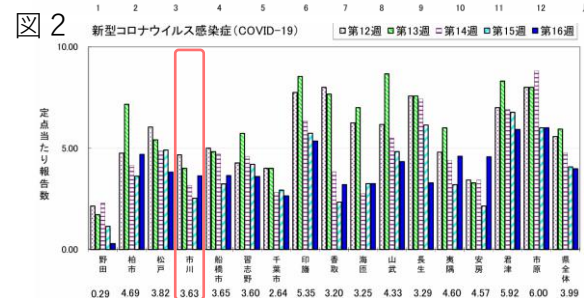
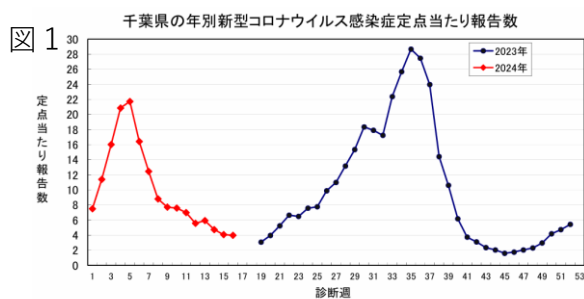
- 感染対策
- ①手洗い・手指衛生
 - ②マスクの着用・咳エチケット
 - ③室内の換気 ④室内の湿度の保持
 - ⑤人込みを避ける ⑥ワクチン接種

【参考】千葉県感染症情報センター
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202413influenza.pdf>
【参考】厚労省：インフルエンザQ&A
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/QA2023.html

—— 定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です

第16週の県全体の定点当たり報告数は、3.99（人）でした（図1）。報告数が多かった地域は、市原6.00（人）、君津5.92（人）、印旛5.35（人）でした。

市川保健所管内の報告数は、3.63（人）となっています（図2）。



感染対策

インフルエンザを予防する方法と同様です

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202413covid19.pdf>

お知らせ

—— HIV・性感染症・肝炎検査についてのお知らせです

検査実施日 第1・第3木曜日 ※詳細はホームページをご覧ください

検査内容 HIV／梅毒／B型肝炎／C型肝炎／クラミジア／淋菌

**問い合わせ
予約方法** 市川保健所疾病対策課 電話にて要予約
※市川保健所のホームページをご参照ください

【参考】市川保健所：HIV抗体検査・肝炎ウイルス検査のご案内

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-ichikawa/kenkousoudan/hiv.html>

【参考】千葉県：千葉県内のエイズ等相談・検査

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/aids/soudan.html>

他保健所の情報も掲載しております

最後に

- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることをご了承ください
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任においてご利用ください
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします

配信元

千葉県市川健康福祉センター
(市川保健所)
いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp